



1995.2.1  
第97号

編集・発行  
福島県教育庁  
会津教育事務所  
新 國 正 明  
編集協力  
北会津・耶麻・両沼  
地教委連絡協議会  
小・中学校長

### 提言



会津教育事務所業務次長

## 親と子

山内徳次

「生きもの地球紀行」というNHKのテレビ放送を興味を持って見ている。動物たちの親子がどうふれ合っているか、すなわち、親は子をどう教育しているかについて、私は特に興味を持って見ている。危険（外敵）から子を守るため果の移動をする動物。引越しに際しては、一匹一匹を口にくわえ、安全の配慮も忘れてはいない。そこには、「安全の備えは、十分すぎるぐらいに注意するものですよ。」という指導があるように思える。また、獲物をつかまえるところを観察させ、後日、子どもたちに実践させている動物も

いる。その際、獲物を半殺しにしてから段階的に体験させる等絶妙な知恵がある。それはあたかもできることから取り組ませ、成就感を持たせるやり方ではないかと思わせられる。卵で子孫を残す動物たちになると、また内容が異ってくる。子どもが小さいうちは、自分の口の中で育てる魚や腹にかかえて守る動物もいるが、産みっぱなしの動物が多いようである。彼らは、いつ、どこで、どんな指導をしているのだろうか。親と同じように行動し、子孫を残している現実をみると、遺伝の不思議さを感じるのである。

転じて、人間社会での親子関係はどうだろうか。社会の仕組みの複雑さ、大人になるまでの年月の長さなどを考えると、動物と同一視できないのは当然である。教育についても、役割りが細分化され、親子だけのかかわりだけではたちゆかなくなってきたのも事実である。複雑になればそれだけむずかしくなり、そのひずみも生じてくる。こんなときだからこそ、「生きもの地球紀行」に新鮮さを感じるのかもしれない。あの純粹さ。力強さ。そして愛。原点に立ちかえって考えよ、と教えられているような気がするのである。

## 「重要な役割をもつ終末段階」

終末の段階は、10分程度ですが、じつは、重要な役割を担っているのです。

の見通しをもたせる。

1 授業をまとめ、「学んで得た力」を生きた力に高める。

このような重要な役割をもつ終末段階を確実に確保するためには、次の点に留意することが大切です。

○子ども自身に、得意のやり方でまとめさせる。

◎終末段階の役割（1〜3）を十分理解する。

○既習事項や相互に、発展的におさえ、個々の理解の度合を一層深める。

◎年間指導計画や単元指導計画、学習過程など、一連の指導計画を指導内容や時間配分などを十分検討し、精選重点化を図り、内容、時間の確保に努める。

○多様な練習活動に取り組ませ、補強、補完し必要な場面で生きた力として適切に活用できるまで高める。

2 学習の仕方を

終末段階は、「わかった」状態での段階であることを踏まえるとともに、「こどもの側に立つ指導」「内発的な学習意欲の重視」「指導と一体をなす評価への改善」などは、終末段階でも重視する必要がある。

3 授業をふりかえり、次時

このように授業の本質にかかわる重要な終末段階が各教室で確実におさえられているか。

## 「実のなる」教育をめざして

体得させる。

○方法、手段を確認させることの積み重ねにより学習の仕方方を身に付ける。

3 授業をふりかえり、次時

「いじめ問題には継続的な対応を！」

# 「選択教科における生徒の特性に応じた指導方法」

## 会津若松市立第一中学校

1 研究主題  
平成五・六年度の二か年間、文部省より教育課程の研究校として指定を受け、研究を推進してきた。

新学習指導要領の基本方針を踏まえ、研究主題

「選択教科における生徒の特性に応じた指導方法はどうかあればよいか」を設定した。

2 選択教科履修幅の拡大

第一に、生徒の希望を本校の現状に照らしてどこまで生かすことが可能かを検討した。第二に、「生徒の主体性を生かす選択教科履修幅の拡大」の趣旨を生かすには、何が適切かといった面から検討した。

その結果、第二学年では、音楽と美術から〇・五ずつ一時間を生み出し、第三学年では、保健体育と技術・家庭から一ずつ二時間を生み出した。

3 履修のための手順  
二回にわたるガイダンス・

保護者への説明・アンケート調査・ガイドブックの作成・選択授業の参観と本調査まで、よりよい選択ができるよう hands-on を講じた。

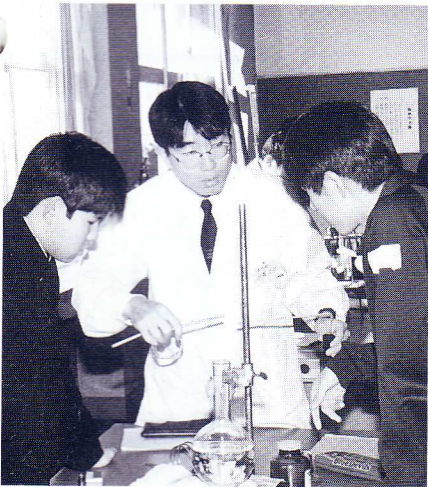
4 コース別学習のあり方  
学習意欲が乏しく、自分で課題を見つけれない生徒に

対しては、学習課題のピックアップ方式（生徒の希望をもとにして、取り組ませたい学習課題のメニューを与え、そこから課題選択学習をさせること）を導入することにより、希望を生かして自ら学ぶ意欲を高めさせたいと考えた。

5 評価  
各教科共通して、「関心・意欲・態度」「主体的活動」「目標の達成」と三項目を設定し、さらに教科ごとに標準を設けた。また、評価の方法として、「生徒の自己評価」「教師の観察」「生徒の発表」と

いった、主に三つの方法で評価した。  
6 外国語科におけるコミュニケーション能力の育成  
表現能力を育成するための効果的なコミュニケーション活動として、「一分間スピーチ」「スキット」を中心に、授業に取り入れてきた。  
また、ALTとのT・Tはもとより、JTL同士のT・Tを採用し、コミュニケーションへの意欲化を図ってきた。

【写真】 主体的・意欲的に学習するための支援・援助



# 道ばたの文化財

## 塩川町教育委員会

### 別府の一里塚

塩川町役場の北約一キロメートル、塩川中学校の北へ約一五〇メートル、国道一二二号線から東へ分岐する県道熊倉・塩川線を約一五〇メートル入った位置に、別府の一里塚がある。この県道はかつての米沢街道で、現国道との分岐点には、米沢街道を示す石造の道標があり、文久三癸亥（一八六三）年四月の銘が刻まれている。

一里塚は南北に走る現県道の両側に一基ずつある。西側の塚は底面径一一・八メートル（南北）、高さ二・八一メートルのほぼ正円で原形を保ち、封土は芝生でおおわれている。頂上にはサクラの木がある。東側の塚は底面径一四・一五メートル（東西）、高さ一・七五メートル、頂上に石宮とサクラ、クヌギ等があり、形は少し崩れてしまっている。

近世の街道として米沢街道が整備されたのは慶長十三年（一六〇八）のころであることが、「新編会津風土記」巻之五四の塩川駅掟書によって窺われる。

当町より檜原通駄賃順路之事塩川領御蔵入に被仰付之條かな川通其外脇道一切相止塩川通上下駄賃可相通之旨御意候慶長十三年八月二十八日  
岡半兵衛  
町野左近助

別府の一里塚が築かれたのもこのころであろうと考えられる。

本県遺存の一里塚には、国指定の須賀川一里塚をはじめ数か所あるが、街道の両側に遺存していることを含め、会津における交通史の重要な資料として注目され、昭和三十三年八月一日に福島県指定史跡となっている。



# 『登校拒否を乗り越えて』

～巡回教育相談を通して～

県教育委員会委員  
巡回面接教育相談員

成 田 力

「この子に対して、どのよう  
に指導していったらいいん  
ですか。具体的な方法が分か  
りません。」

訪問先で受ける一番多い質  
問がこの言葉です。その表情  
には登校拒否児を思うが故の  
苦悩が感じられます。

先生方はのどから手が出る  
ほど知っていたにいます。い  
ますぐ効く特效薬はないか。  
有効な具体策をとりたいがう  
まい方法はないかなど。

残念ながらそう言った「う  
まい方法」はありません。な  
ぜなら、登校拒否という状態  
はその子がいままでストレス  
と闘ってきた帰結の一つと見  
ることができ、その子を取り  
巻く状況のどこにストレスを  
感じ、どの時期にそれが起っ  
たかなど一人一人ケースが違  
うからです。

先生方は、日々の教育活動  
の中で、登校拒否児の対応に  
誠意を持って当たっておりま  
す。その解決には、相当の注  
意を払って努力している様子  
がうかがわれますが、対応が  
マニュアル化しているのが気

になります。

例えば、朝、形式的に電話  
を入れるとか、むやみな「登  
校刺激」は避けた方がいいと  
いう名目で、アプローチをひ  
かえてしまうなどが見られる  
ような気がします。また、そ  
の場その場の対応にも追われ  
ているように感じられます。

では、どうすればよいので  
しょうか。

登校拒否の対応で重要な  
は、「方法」ではなく「方針」  
であると考えます。方法はた  
くさんあります。しかし、方  
針は一つです。単純で分かり  
やすいのです。その方針が決  
まればあとは、その方針に照  
らしながら方法をいくつか実  
践していけばよいと考えます。

この方法で本当によいのか不  
安になることがあると思いま  
す。その時は、方針に照らし  
てその是非を判断すればよい  
のです。方針のキーワードは  
「自立」「存在感」などが考え  
られます。

一つの方針のもと、いろい  
ろな方法で試みるのが大切  
であると考えます。そう言っ

た努力のうち、うまくいくの  
もあれば、まずいものもあり  
ます。しかし、まずいものは  
まずいものなりにそのことの  
内容や意味が確かめられれば  
よいと考えます。そういつた  
飾らない自然のぶつかりあい  
や、やり取りがあつて初めて  
徐々に満足のいく対人関係や  
基本的信頼感の醸成が可能に  
なり改善されていくものと考  
えます。

私たちは心理学者ではあり  
ません。分からないことばか  
りです。しかし、登校拒否児  
の心に共感し、その傷をいや  
してあげることほできません。  
また、そう信じたいです。否  
定の上には何事も始まらない  
からです。

もうすぐ春です。春は進級  
入学の季節です。親子にとっ  
ても、喜びと希望に満ちてい  
る時です。しかし、春は、登  
校拒否児の多く出てしまう時  
期でもあります。子どもの笑  
顔がクラスから消えることの  
ないようにしたいものです。

## 最先端設備を開放しての 会津大学「コンピュータの世界体験講座」

住民の多様化・高度化する  
学習ニーズに対応する学習機  
会の拡充と、地域に根ざした  
生涯学習の普及・啓発を図る  
ために、大学の有する専門的  
知識、技術、教養に関する体  
系的な学習機会を提供するこ  
とを目的として、大学開放講  
座を会津大学で開催した。

### 社教の窓から

「コンピュータの  
世界体験講座」をテ  
マとし、会津大学が  
有する最先端の機器  
を開放しての学習内  
容であった。

この講座は一般社  
会で、ある程度コン  
ピュータの経験を持  
つ人を対象とした。  
主な学習内容とし  
ては、  
○ワークステーション  
利用の基礎  
○LMLの利用  
○グラフィックスの基礎  
このような内容を十回にわ  
たり延べ三十時間実施した。  
コンピュータソフトウェア  
科学科長の大川知教授をはじめ  
躍の先生方から親切にねい

なご指導を受けた。

すべての面で国際的レベル  
の大学だけに受講希望者が殺  
到し、受講申し込みを開始し  
てわずか数日で定員の四十名  
に達してしまつた。

受講者の中には福島市や原  
町市から参加された方もあり、  
会津大学開放に対する関心の  
高さがうかがえた。

受講者の多くは勤労者で、  
教員や公務員が二十四名と最  
も多く、農業や僧侶、主婦も  
見られるなど、コンピュータ  
が日常の生活に浸透しつつあ  
ることが裏付けられた。

受講者の感想として、「楽し  
く学習できた」、「最先端のシ  
ステムに感激した」、「教員の  
教材研究の場として開放して  
ほしい」、「長期間の講座を開  
催できないか」、「夜間・休日に  
開放してほしい」、「生涯学習  
を支援する大学であつてほし  
い」等会津大学に期待する意  
見が多かつたことから、本  
講座がいかに有意義であつた  
かがわかる。超一流の設備  
を積極的に開放していただい  
た会津大学のご協力に感謝す  
る次第である。



# 心に残った人々

新鶴村教育委員会教育長 新 田 秀 雄



新鶴村に、在伯日系青年が農業研修のため訪れた。

研修生は、渡辺マリエ・ローザさんと三宅デニゼさんの若いお二人である。八月から十月までホームステイし、日本の農業

の理解と技術習得や日本の文化・歴史を学んだり、村で実施するいろいろなイベントに参加するというものだ。はじめは、ふれあいの森で行われた中学生のキャンプへの参加を通して、野外炊飯やキャンプファイヤーを楽しんでもらった。「ようこそ新鶴村へ、日本語お上手ですね。」「日本語少しです。英語も少しです。私達はポルトガル語を話します。でも、おじいちゃん、おばあちゃんの年代の方々は日本語を話します。ブラジルは今、冬、マイナス五度の世界です。でも二十

四度位になることもあります。日本の夏は湿度が多いですね。おじいちゃんに聞いていた会津磐梯山を見ることができてとてもうれしかったです。三宅デニゼさんは私の隣家にホームステイした。家族にすっかりとけこみ、規則正しく、礼儀正しく生活したという。早朝、ミニトマトの取り入れを手伝ったりした。だれにも「おはようございます。」と笑顔で挨拶を交わした。三カ月間の彼女のさわやかな振舞いと、そして、たくましい行動力が強く印象に残った。

# 随想

中学生のいじめがマスクミを賑している昨今だが、たかが僅かの点数のことで簡単に自分達の人生を決定づけられがちな今の世の中のしくみでは子供達だってやり切れまい。これはそれらとまったく無縁でない。だれも言わないが解決策だ。入りたいくない者まで無理にとは言わないが大学まで義務教育にすることだ。親の方も我が子の性格をよく見極める必要がある。必要以上に子供に期待したり、

点数でも悪いとなると教え方が悪いと人のせいにしてたりする困った世の中になった。元来、点数よりもっと大切なものがある。「親のしつけ」の問題である。いじめについてのマスクミの扱い方も悪い。現象だけとらえ、学校だけの

## 「うちの親はいじむ」

古澤屋社長 伊藤 清平

責任にして、言われた方も全くそうだと勘違いしているのである。その子供はどういう家庭で今迄育っているかという事まで追及はしない。学校に子供が居るのは年平均一日



校より家庭の問題であり、

「家庭」というからには家と庭があつて当たり前だが今のマンション住まいでは親の方も心のゆとりがあるまい。一番大切な事をだれもが今忘れて

当たり三時間足らずでしかない。先生方もクサることはない。己の信念に自信をもつことだ。ただサラリーマンの感覚で子供と接触しないことである。ボクは二十六年の教員在職中一度も校内では腕時計などしなかつた。時間にこだわらなかつたからだ。しつけは学

# 管理課短信

学校事故の防止につきましては、諸会議等の機会をとらえ、また、通知・通達を通して、各市町村教育委員会や各学校に常日頃お願いをし、取り組んで戴いておりますが、今後、更に学校事故の絶無や円滑な学校運営のため次の点について、一層のご努力をお願いいたします。

一、教職員の事故防止

(一) 信用失墜行為の絶無

平成六年度、県内でも新聞報道で話題となった教育公務員としてあってはならない事故が発生しております。いやしくも、児童・生徒や、地域の方々から批判や疑義を招くことのないよう、教育公務員としての自覚を高め、綱紀粛正について次のことを重点とし、努力をお願いいたします。

○わいせつ行為等の絶無

○飲酒運転の絶無

○体罰と疑義を招く行為の絶無

(二) 交通事故の防止

積雪時に入り、教職員の交通事故が多発する傾向が見られます。車の性能や運転技術

# 教育事務所から

を過信したためと思われる事故も発生しており、改めて、冬道の危険度を考え、車の性能や運転技術を過信せず、安全運転をお願いいたします。

(三) 傷害事故の防止

冬期間特有のスキーによる傷害事故が発生しております。自己の体力や運動能力を過信することがないようお願いいたします。

二、学校事故の防止

学校火災・盗難事故防止

止火気を使用する機会が多い季節です。校舎内外の整理整頓に努めるとともに、点検が形式的にならないようお願いいたします。

また、施設を完全にするとともに、学校内に立ち入る不審者に注意するなど、学校盗難事故の防止についても具体的な対策をお願いいたします。

三、週休の管理について

四月から、月一回の学校週五日制が実施されます。

それに伴って、まとめどりの仕方が変わりますので、平成六年十二月六日付け、六教総第六三二号の通知により、適切な指定の事務処理についてお願いいたします。

# わたしの抱負

喜多方市立第一小学校

教諭 関根 敏江



初めて喜多方一小の門をくぐった日、初めて教室に入った日:

三島町立宮下中学校

教頭 白井 善雄



「七年度は統合され、新しい中学校にかわる」と聞かされ、新任

会津若松市立赤井小学校

校長 黒沼 淳子



「豊かな人間性を育む教育」を推し進め、子どもを

たくさんの「初めて」の中でも、三十九名の子供達に初めて出会った日のことは、今でもはっきりと思い出されます。いつも友達と衝突していたM男。話しかけても、なかなか答えてくれなかったS男。少しのことで大泣きしていたY子など... この子供達も十ヶ月の間で、心身ともに大きく成長してくれました。

「友達に嫌なことを言われても我慢したよ。」と話してくれたM男。私の質問にもはっきり答えられるようになったS男。「Y子ちゃん、泣かなくなっただね。」と友達からもほめられたY子。カルテには、理解のためのエキスが詰まっています。日々様々な顔を見せてくれる子供達。その本当の姿をもっと引き出せるよう精一杯努力していきます。

教頭として二重の不安と緊張のスタートとなった。年度初めは文書の処理に追われていたが、学期が進み行事や会合を持つごとに、保護者や地域の人々の学校に寄せる期待の大きさを実感した。

子どもたちは、素晴らしい環境のもとで明るく伸び伸びと活動している。これは、統合しても変わらぬ姿で新しい中学校の校風へ引き継ぎたい。今は、統合へ向けての課題も先生方と共に、一つずつ解決し、着実に進んでいる。

六年度もあと一か月。新しい中学校を思い描きながら、宮下中四十八年の歴史を閉じられるよう、校長先生はじめ、先生方と充実した学校運営を進めたい。また、統合中学校の礎をつくるべく、最後まで精一杯努力していきたい。

# わたしの作品

## 空の色

詩

喜多方市立関柴小学校三年 相良 朋子

わあ、青い空  
と思ったら  
サーッと  
お日さま見えなくなっ  
てはいい色になっちゃった。  
きれいな夕やけ空  
と思ったら  
あっという間に日がく  
れまっくろになっちゃった。  
だれかが色をぬって  
るの。  
わたしだったら  
もっともっと  
きれいな色にするけど  
なあ。

## 青い空の白い雲

喜多方市立関柴小学校三年

佐藤 芳

青い空の白い雲は、  
いつもきれいな雲。  
ふわふわで、  
空のわたあめみたい。  
大きいわりばしをさして、  
くるくる回すと、  
大きい大きい  
わたあめができそう。

## 習字 願望

湯川村立湯川中学校  
二年 片桐美樹



## 飛躍

会津若松市立第三中学校  
三年 鈴木庸介



## 蔵づくりの家

会津本郷町立本郷第一小学校  
六年 多田幸代

